

「アセット・アセンブラー」モデル

MSVの実現に向けて、オーガニック・インオーガニックの両面でEPSを積み上げる



株主価値のアップサイドを無限に追求

前提条件 (中長期見通し)	- マクロ経済の先行きは今後も不透明 - ローリスク・グッドリターン of 優良アセットはグローバルに存在 - 日本の優位性 (日米金利差、日本への信頼など) は今後も健在
特長	- オーガニック・インオーガニックでEPSを、安全に、安定的に積み上げられるモデル 「アセット・アセンブラー」への理解・評価は、PERの向上につながり、MSVの実現が可能 「アセット・アセンブラー」による成長力は無限大

「アセット・アセンブラー」モデルは、オーガニック、インオーガニックの両方にわたる「持続的なEPSの積み上げ (Sustainable EPS Compounding)」を目指すものです。

マクロ経済の先行きは今後も不透明であるとの前提に立ち、グローバルに今なお存在するローリスク・グッドリターンであるアセットを積み上げていきます。また、日本円が持つ低金利の優位性のみならず、日本企業が買収側に立つことへの信頼感なども含めた「日本の優位性」をM&Aでは生かしていきます。

このようなオーガニック、インオーガニックの両方にわたってEPSを安全に、安定的に積み上げる「アセット・アセンブラー」モデルに対して、資本市場からの理解・評価を獲得していくことによって、PERの向上へとつなげ、MSVの実現を目指します。そして、買収したアセットのポテンシャルを最大限に引き出すことで、オーガニックでも成長を加速し、それがまた新たなアセットを呼び込むという好循環を作り出すことで、株主価値のアップサイドを無限に追求していきます。